

各位

2026 年 7 月 22 日  
古河機械金属株式会社

## ユニック部門：地元特別支援学校のキャリア教育を支援

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ユニック部門を担う古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅野 悌二）は、このたび、千葉県立八日市場特別支援学校および千葉県立印旛特別支援学校の生徒を対象に、出前授業とインターンシップを実施しました。

古河ユニックは、今後も、企業への理解と関心を深めるキャリア教育支援を続け、地域で学ぶ生徒が将来の進路選択の一助となる学びの場を提供していきます。



キャリア教育支援の様子

### 八日市場特別支援学校出前授業

6 月 24 日、千葉県の教育 CSR (<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kyaria/csr/csrtouroukuseido.html>) の一環として、八日市場特別支援学校で出前授業を実施しました。授業には高等部 2 年生 12 名、高等部 3 年生 14 名、職員 10 名が参加し、ユニッククレーンの概要説明をはじめ、メスシリンダーや注射器、エアーマットを用いた実験を行い、「パスカルの原理」などを学びました。屋外では、ユニック車を使用して「シーソーの原理」や「歯車の原理」を体験するとともに、ユニッククレーンおよびミニ・クローラークレーンの動作見学を通じて、機械の仕組みや原理への理解を深めました。

参加した生徒からは、「すごい」「カッコいい」などの感想をいただき、授業を通して興味関心の高さを示している様子でした。また、学校担当者からも「普段見聞きすることのできない貴重な体験ができた」「原理の理解が進んだ」といった声をいただきました。



出前授業の様子①



出前授業の様子②



## 印旛特別支援学校インターンシップ

6月29日～7月3日までの5日間、印旛特別支援学校高等部3年生1名が参加し、塗装した部品のマスキングテープ外しや部品仕分け、運搬などの業務を体験しました。

実習生徒は、製造業での仕事に手ごたえとやりがいを感じており、笑顔で話している様子が見られました。



インターンシップの様子①



インターンシップの様子②

## 古河ユニック 佐倉工場



## ユニッククレーン

ユニッククレーンは、「吊る・積む・運ぶ・作業する」という一連の作業をトラック一台で可能にした省力機械です。ニーズに合わせたブーム段数やクレーン容量など小型から大型トラック用まで豊富なラインナップを揃えています。更に、安全性を重視したモデルや環境に優しいエコモデル、複雑な操作を容易にする液晶ラジコンなど、先進的な機能を備え、国内シェアは50%を誇ります。



## 【補足資料】

### ■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 4 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、アーステクニカ部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875 年（明治 8 年）8 月

設立：1918 年（大正 7 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,883 人 〈単独〉207 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社 100% 子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：菅野 悌二

事業内容：1961 年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クロークレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和 21）年 4 月

資本金：2 億円

従業員数：479 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawaunic.co.jp>